

たけふ

JFグループ兵庫



神戸市漁業協同組合 奥野陸人さん

特集 海業 ～漁村活性化への取り組み～

CONTENTS

- | | | | |
|---|--|----|---|
| 2 | 特集 海業 ～漁村活性化への取り組み～ | 9 | 親子でジャンボ巻き寿司に挑戦
白鶴酒造公式チャンネルYouTube動画の撮影協力 |
| 4 | 輝く若手漁業者インタビュー 奥野陸人さん | 10 | ようそろ |
| 6 | 第25回「山田記念賞」表彰式・祝賀会 開催 | 11 | 兵庫JCC通信 |
| 7 | 第48回 淡路のり品評会 開催
淡路市立学習小学校 のり加工場見学・勉強会 | 12 | SEAT CLUB 魚介レシピ |
| 8 | “命を守る運動” 海上安全講習会
過去5年の船舶事故の発生状況について | | |

特集 海業 ～ 漁村活性化への取り組み～

水産庁は令和4年3月に閣議決定された水産基本計画及び漁港漁場整備長期計画において、「海業の振興」促進など、地域の水産業を活性化する海業の取り組みを促進しています。また、成果目標として、令和4年「海業振興コンシェルジュ」の設置、「海業の取組事例集」の公表等を行っています。今回は、この海業の概要

1. 海業について

「海業」とは、海や漁村の地域資源の価値や魅力を活用する事業であり、国内外からの多様なニーズに応えることにより、地域のにぎわいや所得と雇用を生み出すことが期待されるものをいいます。具体的には、以下の①～⑤の取り組みを1つあるいは、複数もった活動を展開していくものを指します。

取り組みの種類

- ① 渚泊・体験・観光
- ② 釣り・マリンレジャー
- ③ 飲食・販売
- ④ 漁港活用の増養殖
- ⑤ 市場見学・加工場活用

2. 海業の取り組み事例について

水産庁のホームページでは、これまでに行われている様々な海業の取り組み事例が公表されています。その一部を取り組みの種類とともに紹介します。

取組事例Ⅰ：①渚泊・体験・観光、③飲食・販売 【妻鹿漁港】（兵庫県姫路市）

対策

漁港の有効活用による集客と情報発信（妻鹿漁港）

○ 補助用地と単独用地を交換し、集客施設を整備（漁港用地を有効活用）



○ 「まえどれ市場」では、「家島諸島」の水産物の飲食や販売とともに、観光情報を発信し、島への訪問者の増大を促進



宿泊型観光（渚泊）の推進（家島諸島）

○ 家島諸島の地域資源を活用した体験プログラムを開発し、パッケージツアーとして展開



○ H29年度から農山漁村振興交付金を活用して、体験コンテンツの更なる充実を図るなど、宿泊型観光（渚泊）を推進



《海業振興モデル地区》

水産庁は、海業振興の先行事例を創出し、広く普及を図っていくため、令和5年3月に「海業振興モデル地区」（全国12ヵ所）を選定しました。本県から選定された新温泉町の居組漁港では、居組海業協会（会長：JF浜坂川越一男組合長）を設立し、具体的な取り組みについて協議が行われています。

選定地区は
コチラから！



を位置付け、漁港を海業に利活用するための仕組みを検討していくことを明記し、水産物の消費増進や交流度～令和8年度にかけて新たな海業の取り組みを概ね500件増やすこととし、「海業振興モデル地区」の選定、と取り組み事例を紹介いたします。

取組事例Ⅱ：②釣り・マリンレジャー 【気仙沼漁港】（宮城県気仙沼市）

海業の取組概要

気仙沼漁港・魚町岸壁周辺



・令和4年度に水上アクティビティ（水上自転車、ハンドパドルボート、水上ピクニック）の社会実験を3週間にわたって実施。

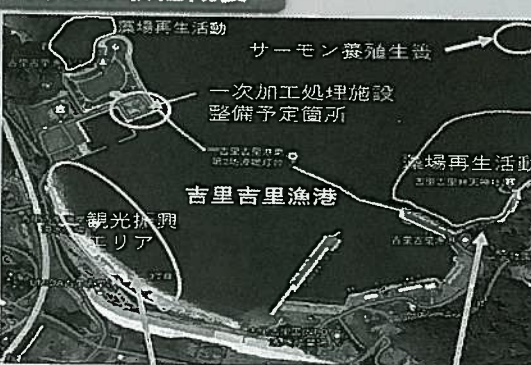
・漁港管理者（県）から市が占用許可を受け運営を気仙沼まちなかエリアプラットフォームが担った。滞留空間の創出を目的に、漁港施設内の公園に漁網を使用したロングベンチも設置。

・令和5年度においても水上アクティビティの将来の常設化に向け、事業性の検証やさらなる安全性の確保、漁港利用の仕組みづくりの検討のため、事業候補者（民間事業者）による社会実験を予定。



取組事例Ⅲ：④漁港活用の増養殖 【吉里吉里漁港】（岩手県大槌町）

海業の取組概要



【漁港を活用した増養殖】

● 「岩手大槌サーモン」海面養殖の拡大
・ 選別水揚げ施設、飼料漁具倉庫、種苗馴致施設、一次処理加工施設の整備

【観光振興】

● 「藻場再生体験」「スキューバダイビング」等を活用した交流人口増
・ マリンレジャー、地引網等の漁業体験、渚泊等
● 「藻場再生」「ウニ蓄養」による漁業者の収入増
・ 漁港周辺の静穏域を活用したウニ蓄養事業
・ 藻場再生による磯焼け対策、磯根資源の漁獲量増
【小中高生を対象とした海洋教育】
● 学校教育の場での「海業」の理解、普及
・ 出前授業、課外授業による担い手確保等



（注）取り組み事例については水産庁HPより引用

取組事例の詳細はコチラから！



若手漁業者インタビュー

神戸市漁業協同組合 奥野の陸人さん



今回は神戸市漁業協同組合の奥野陸人さんにお話を伺いました。親方の前田暢宏さんにも同席いただきました。

親方のところは実家からも近く、当時16歳で一人暮らしも初めてでしたので、父親が近くにいると安心感も強く、親方のところに決めました。

●漁師になることについて家族の反応はどうでしたか？

(奥野さん) とりあえず、やってみたらと言われました。ただ、今でも2ヶ月で辞めると思っていたと言われますし、何年も続くとは思っていません。よかったと言われます。

●研修を受けられていましたが、どうでしたか？

(奥野さん) 日誌を書いていましたが、そのことは覚えていません。

(前田さん) 網の縫い方などを教えて、漁に出て色々覚えてもらいました。シラス漁は6月7月初めが一番忙しく、その時期を乗り越えれば慣れられると思っていました。

この研修制度があつて良かったと思います。ありがとうございます。

●1日をどの様に過ごされていますか？

(奥野さん) 朝の2時半までに起きて、3時に出港、4時に網入れ、10時に網上げ、11時に帰港、12時に作業を終ります。

量に獲れているのはほぼ見たことがありません。漁師を始めた時から少ないので、それが当たり前になっています。(前田さん) 海の状態が変わっているのは確かです。20年、30年前に比べ、この季節に沖から産卵のために神戸に向かつて入ってくる魚が、こんなにいたのかと、色々と考えさせられます。水温が高くなったのか、エサになるものがいなくなったのか、シラス漁ではあまり感じませんが、八田網漁業では変わっていると感じます。コノシロが幻になってきており、獲れて当たり前の魚がいらないという感覚です。

●今後の抱負をお願いします。(奥野さん) 危険が多い職業なので、怪我なく、元気に続けられたらいいなと思います。(前田さん) 段階を踏んで、近々、舵を持てるようになってほしいです。

●奥野さんにメッセージをお願いします。(前田さん) 毎日朝が早く、2時や3時に起きて、頑張ってくれています。一生、岩松水産に添い遂げることはないかもしれませんが、僕が年を取っても一緒にやっていきたいです。

●本日はありがとうございました。

●自己紹介をお願いします。

(奥野さん) 奥野陸人です。21歳です。神戸市東灘区出身です。

●漁業種類について教えてください。

(奥野さん) 主に船びき網漁業です。(前田さん) 1年間通して6ヶ月は船びき網漁業で、冬場の1月〜4月には八田網漁業もしています。

●漁師になるうと思っただきっかけは？

(奥野さん) 父親が船関係の仕事をしており、中学校を卒業したらそっちの仕事をしうと思っていました。それが叶わず、自分で就活をしていました。船に乗りたくて、船関係の仕事を探していました。そんな時に、大阪であった「漁業就業支援フェア」に父親と一緒に参加しました。

(前田さん) そのフェアには30くらい出展していました。

(奥野さん) 兵庫県で出展していたのが、親方の岩松水産ともう一つは但馬の方でした。

します。

いました。

(前田さん) 作業終了後、契約している食堂で、所属する方全員で食事

(前田さん) 力よりも瞬発力が要ります。その一瞬、一瞬で動いてほしいことがあります。

と、その後はフリーです。それと、今のシラス漁は週休3日なので、休みが多いです。昔は1日だけでした。

(奥野さん) 海なので、天候がもろに影響します。雨風との関わり合いで、着業するまでは天気予報の風の向きなどを見なかったが、そういうのがすごく敏感になりました。また、海の上での作業ということで、危険だという怖さが最初がありました。

●実際に着業してみてもいいか？

●そんな奥野さんのことを前田さんはどう思っていましたか？

(奥野さん) もともと引越しのアルバイトをしていて、力仕事をしていました。漁師が使う筋肉は、それとは全く違って

(前田さん) 最初はみんな一緒ですが、怪我のないように続けてほしいということが最優先です。僕も慣れるまで大分かかりましたが、僕よりも力があるなと感じます。がんばっています。

●海の環境で何か不安に思うことがありますか？

(奥野さん) イカナゴについては、大

奥野陸人さん

前田暢宏さん(親方)

第25回「山田記念賞」表彰式・祝賀会 開催

～本県水産業の発展に貢献された3名が受賞～

(一財)兵庫県水産振興基金(東根 壽理事長)主催による山田記念賞表彰式および祝賀会が2月1日(木)神戸ポートピアホテル(借楽の間)で開催され、県・漁協等の関係者ら60名が出席しました。

今年で25回目を迎える同賞表彰式および祝賀会は、兵庫県の水産業の発展に貢献された3名が受賞しました。表彰式では、兵庫県 齋藤元彦知事から受賞者へそれぞれ「天与」と命名された「男女漁業者立像」レリーフが贈呈されました。

東根理事長の主催者挨拶の後、兵庫 齋藤元彦知事、水産系統団体を代表して、JF兵庫漁連 田沼政男会長より来賓祝辞が贈られました。最後に受賞者を代表してJF相生 竹内卓也



来賓祝辞をされる齋藤知事



主催者挨拶をされる東根理事長



受賞者謝辞をされる竹内様

様から「この賞を励みとして、今後とも本県水産業の発展のために、微力を尽くしたい」と謝辞を述べられました。記念撮影の終了後、大輪田塾18期生、19期生が紹介され、今後の抱負を語りました。

祝賀会では、山田智昭副理事長の開宴挨拶に始まり、齋藤知事が受賞者一人ずつとお話しされるなど、終始華やかな雰囲気にも包まれるなか、兵庫県漁業共済組合川越一男組合長理事が万歳三唱を行い、幕を閉じました。

山田記念賞 受賞者

令和5年度 兵庫県水産賞受賞者

JF相生	竹内 卓也
JF室津浦	松下 時久
JF但馬	山下 徹

(敬称略)

第48回 淡路のり品評会 開催!!

出品のりは福祉施設等に寄贈!

(一社)淡路水交会(東根 壽会長)主催による淡路のり品評会が、2月2日(金)淡路水産センター(洲本市)で行われました。

今回で48回目となる同品評会は、淡路島内において生産されるのりの品質改良及び養殖・加工技術の向上を図る目的で毎年開催され、12月から1月上旬までに淡路島内で生産された乾のりについて審査を行うものです。



審査の様子

第48回 淡路のり品評会審査結果表

(敬称略)

賞の区分	漁協名	経営体名	代表者名	賞の区分	漁協名	経営体名	代表者名
兵庫県知事賞	育波浦	桑名水産	桑名 幸充	なぎさ信用漁業協同組合連合会	森	利平水産	森 利勝
兵庫県議会議長賞	室津浦	栄福水産	連 勝也	経営管理委員会賞	由良町	ミタケ水産(株)	伊奈 正隆
兵庫県淡路県民局長賞	育波浦	内海水産	内海 春樹	兵庫県漁業共済組合賞	室津浦	元富水産	松下 時久
兵庫県漁業協同組合連合会長賞	室津浦	忠庄水産	連 斎樹	兵庫県JF共済推進本部賞	育波浦	柿本水産	柿本 幸久
兵庫県立農林水産技術総合センター所長賞	一宮町江井	河野水産	河野 崇起	兵庫県JF共済推進本部賞	室津浦	さざなみ水産	連 千年
兵庫県淡路県民局長洲本農林水産振興事務所賞	浅野浦	森水産	森 行啓	兵庫県JF共済推進本部賞	育波浦	柳川水産	柳川 高広
洲本市市長賞	由良町	(株)新水産	新川 次郎	兵庫県漁業共済組合賞	室津浦	丸喜水産	望月 嘉人
淡路市長賞	森	安啓水産	畠田 安啓	兵庫県漁業共済組合賞	津名塩田	中野水産	谷 忠男
南あわじ市長賞	南 淡	北西水産	北本 勉	兵庫県漁業共済組合賞	浦	参誠水産	吉田 典平
				一般社団法人 淡路水交会賞	仮屋	由仲水産	岡田 忠明

淡路市立学習小学校 のり加工場見学・勉強会

JF森



のり加工場見学の様子



勉強会の様子

1月30日(火)、淡路市立学習小学校の4年生(38名)がJF森を訪れ、のり加工場見学及びのり勉強会が行われました。

毎年恒例となっている見学会と勉強会を本年も無事開催することができました。

見学会では、蔵水産と安啓水産の2水産にご協力いただき、のり生産工程を見学しました。生産工程の見学では、普段見ることのできないのりができるまでの工程を見ることができ、小学生は興味津々で目を輝かせていました。

勉強会では、同JF2階の事務所でJF兵庫漁連 西好氏、森重雄大氏がのり採苗から収穫までの作業工程について話されました。

勉強会と見学会を通して、「のりは一日に何枚できますか?」「のりの生産量は、兵庫県は全国何位ですか?」「のりの仕事はどんなことが大変ですか?」など、質問があり小学生にとってのり生産について理解を深める1日になりました。

最後に、森吉秀氏(JF森代表理事組合長)より、同小学校全校生徒の給食用に味付のりが寄付され、小学生に地元の水産業の魅力を伝えました。



【山田記念賞受賞者】左から、東根理事長、田沼会長、竹内ご夫妻様、松下ご夫妻様、山下様、齋藤知事

命を守る運動 海上安全講習会

～JF育波浦で開催～

JF・系統団体による「命を守る運動」海上安全講習会を、2月20日（火）にJF育波浦（片山守代表理事組合長）で開催しました。

講習会では、「ライフジャケットの着用義務について」と題して神戸運輸監視部海上安全環境部 船員労働環境・海技資格課 小南課長から講演がありました。ライフジャケット着用、適切な見張りの実施、発航前検査の実施について説明があった後、「法規制以上に、命の大切さ」を認



講習会の様子



ライフジャケットの作動体験の様子

識していただき、実行していただければ幸いです」と述べられました。続いて、「ライフジャケットの作動体験とメンテナンスについて」と題してJF兵庫漁連指導部 北村課長より講義がありました。ライフジャケットの種類と特徴、着用時の注意点等を説明したほか、片山組合長をはじめ参加者が膨張式ライフジャケットを着用しての作動体験を行いました。参加者のライフジャケット着用的重要性について認識を高めるとともに安全への意識を高める講習会となりました。

講習会開催についてのお問い合わせは
JF兵庫漁連（指導部）まで
TEL078-1940-18013

親子でジャンボ巻き寿司に挑戦

JF兵庫漁連

生活協同組合コープこうべとJF兵庫漁連は、兵庫の海の魅力を知ってもらい食べてもらうことを目的に親子でジャンボ巻き寿司のイベントを開催しています。今年はコロナ禍も明け、参加者の親子が9mのジャンボ巻き寿司に挑戦しました。

参加者の皆さんは、スタッフが準備したお魚クイズで兵庫の漁業・魚・海の現状を楽しく学んだ後、9mの海苔を巻きすのに乗せ、調理を開始しました。小さいお子さんもイカナゴのくぎ煮などの具材を手際よく並べていました。すべての具材を乗せ終わると「せーの」の掛け声のもと参加者全員でタイミングを合わせて巻き寿司を巻いていくと、参加者から「わあ」という歓声が上ががり、見事に9mのジャンボ巻き寿司が完成しました。



9mのジャンボ巻き寿司完成の様子

完成した巻き寿司は昼食としてみんなで試食し、ジャンボ巻き寿司を自分たちで作った達成感でおかわりする参加者も多数見受けられました。参加者の皆さんは、具たつぷりの巻き寿司の味にとても満足した様子でした。今年は、5か所でイベントを開催し

ましたが、すべての会場で大人の方からも笑顔がこぼれ、好評のうちに終了を迎えました。参加者の皆さんには、兵庫県の海の魅力について学び、味わって満足していただけた1日となったのではないかと思います。これからも兵庫県の海の魅力をPRする活動を行っていきます。

過去5年の船舶事故の発生状況について（令和5年を含む）

令和5年の神戸海上保安部管内の船舶事故隻数（速報値）を含む、過去5年の船舶事故の発生状況は、以下のとおりです。

神戸海上保安部

船舶事故の発生状況（R1～R5）

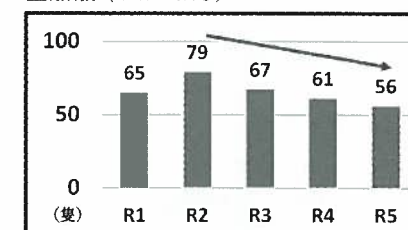
※神戸海上保安部管内

	R1	R2	R3	R4	R5
①プレジャーボート	39	52	49	40	32
②漁船	9	6	4	10	10
③貨物船	8	10	4	4	5
遊漁船	3	2	3	4	5
旅客船	1	1	1	0	0
タンカー	1	1	0	0	1
作業船	1	2	0	0	0
その他	3	5	6	3	3
計（隻）	65	79	67	61	56

過去5年（令和元年から令和5年）の船舶事故隻数は、プレジャーボートが最も多く、次いで、漁船、貨物船の順で発生している。

全船舶（R1～R5）

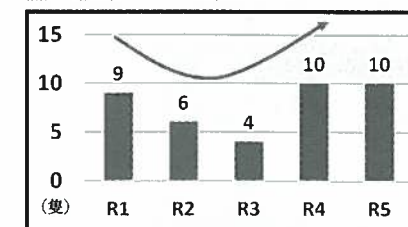
※神戸海上保安部管内



全船舶の船舶事故隻数は、令和2年から令和5年にかけて減少

漁船（R1～R5）

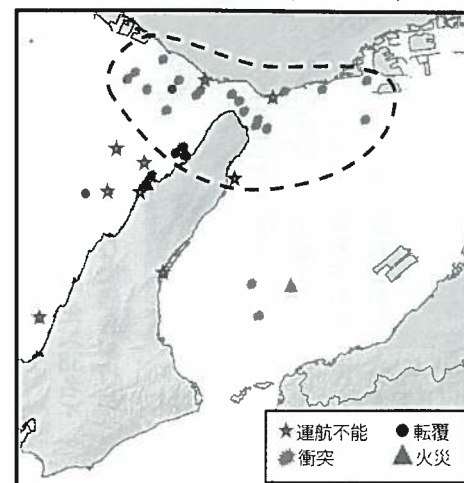
※神戸海上保安部管内



過去5年で衝突25隻（64%）が最も多く、次いで運航不能9隻（23%）火災2隻（5%）の順で発生している。事故隻数については、令和4年と令和5年で横ばいの状況となっている。

漁船の船舶事故発生状況（R1～R5）

※神戸海上保安部管内



播磨灘、明石海峡周辺、淡路島北部、大阪湾北部に衝突海難が集中して発生（令和5年もこの傾向は変わらず）。

パソコンやスマートフォン、携帯電話から、簡単にアクセスできます。海の安全情報で検索

海の安全情報

緊急情報配信サービス

https://www6.kaho.mlit.go.jp/

白鶴酒造公式チャンネルYouTube 動画の撮影協力

兵庫県漁青連

JF神戸市の青年部の協力のもと白鶴酒造YouTube動画の撮影を行いました。撮影された4本の動画が全て公開されていますので、ぜひ、ご覧ください。

《かご網漁業 動画》



《船曳網漁業 動画》



《刺網漁業 動画》



《底曳網漁業 動画》



こだわりの土地と牛舎で 健康な牛を育てる

美方郡香美町の水間達哉さんは、牛飼いを志し、地元で約1,000頭もの但馬牛を飼育している会社で飼育方法等のノウハウを学んだ後、独立を果たしました。

独立するにあたり、牛の繁殖に適した理想の土地を求め、およそ20件もの候補地に足を運び、牛の体調が急変した場合でも早急に対応できるよう、実家近くの40aの土地を選びました。

牛の飼育環境にこだわる水間さんは、牛にストレスがからないように高さ5m程の一般的な牛舎ではなく、高さ10mもの開放的な牛舎を建てました。また、壁面をブラインドにして風通しを良くし、厳しい暑さの中でも快適な室温を維持できるように工夫しています。

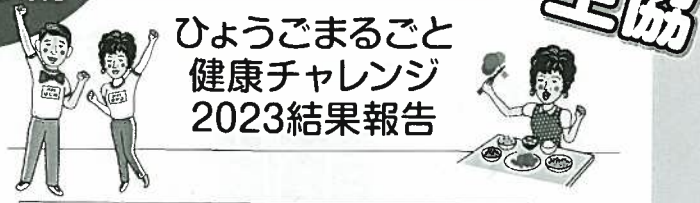
飼料にもこだわり、抗生物質や化学薬品等を一切含まず、Non-GMO（非遺伝子組み換え）トウモロコシやそば、ごま等の人でも食べることができる穀物のみを配合したものを与えています。

飼育した自慢の牛を、昨年10月の「第105回兵庫県畜産共進会」に出品したところ初出場で優秀賞を受賞しました。JAたじま畜産部 みかた畜産事業所 係長 尾崎圭子さんは、「水間さんは、独立2年目で高い飼養技術を持ち注目を集めています」と話します。

水間さんは、今後も牛の健康を第一に考えた飼育を徹底し、5年以内に兵庫県畜産共進会の最高位にあたる名誉賞の受賞を目指します。



<https://ja-grp-hyogo.ja-hyoinf.jp/>



ひょうごまるごと 健康チャレンジ 2023結果報告

「ひょうごまるごと健康チャレンジ」は運動・生活習慣・リフレッシュ・食事コースから選んだものを継続することで楽しみながら健康な生活習慣を身につける取り組みです。2023年度も7月20日～11月30日に実施し、昨年を上回る約5,600人が参加しました。

☆2023健康チャレンジ 参加者の声☆

- ・チャレンジすることで、一緒に運動する仲間が増えた。
- ・ラジオ体操をスマホに入れて実施することで習慣になった。
- ・運動を始めるきっかけになった。
- ・毎日頑張ったことで、規則正しい生活習慣になった。
- ・全身運動で身体の調子が良くなった。これからも続けたいと思う。
- ・家族みんなで取り組み、カレンダーに記入することがやる気につながった。
- ・1口30回を噛もうを夕食時に意識していたら、他の食事の時もよく噛んでいることが多くなった。
- ・あいうべ体操で滑舌が少し良くなった。
- ・休日に外出することを心がけ、リフレッシュできた。
- ・毎日のスクワット。今も続いています。頑張れ自分！
- ・食事の後に歯磨きをしてきれいになりました。
- ・友だちと一緒に外で体を動かすのが楽しかったです。
- ・ダンスが好きなので、体が柔らかくなりリズム感もアップした。
- ・しんどかったけどすべて達成すると、「頑張ったぞー」と思えて、これからもしていきたいです。



連合会の会員生協で構成する「ひょうごまるごと健康チャレンジ実行委員会」では、より多くの、さまざまな年代の方が自分に適した「健康チャレンジメニュー」をみつけて、継続的に健康づくりができることを目指し、次年度に向けた準備を始めています。

<https://www.coop-hyogo-union.or.jp/>

ようそろ

～ずっと真っ直ぐに～
(ようそろとは航海用語で「宜しく候」の意。主に船を直進させるときの号令として使われる)

趣味は魚の生態観察

大輪田塾17期生（JF林崎総務部指導課課長） 久留嶋継光

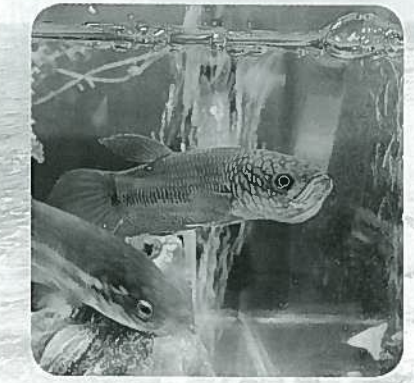


皆さまこんにちは、私は林崎漁協で指導事業に携わっている久留嶋継光と申します。普段は補助関係を担当業務としています。業務と並行してPR活動、勉強会や地域イベントにもよく参加しています。いずれは来ると思っていた「ようそろ」への寄稿依頼があった時は、もう来たのかと驚きました。エッセイなどは書いたことが無いので拙い文章になりますがよろしくお願ひします。

私は多数の魚を家で飼育しています。その話をすると、なんで魚なんか飼っているのかと度々聞かれます。単純に生き物が好きだからという事もありですが、中でも生態を観察する事が特に興味を惹かれる分野なので、飼育が比較的容易で、小規模でも可能、逃げない、そしてライフサイクルが短い種類が豊富という点が自分に合っていたので魚を飼っています。

最近飼いだめたベタの大型種はマウスブルダーと呼ばれ、口の中に卵を啜えて、稚魚が泳げるようになるまで守るという変わった生態をしており、瀬戸内海の魚であればネンブツダイやテンジクダイが同じ方法で繁殖しています。口に啜えるメリットは何より外敵から卵を守り生存率を上げることにあります。しかし、飼育下だとストレスや空腹によって卵を飲み込むことが多々あり、私の飼育する個体も先月卵を啜えて、翌日に飲み込んでしまいました。

流通技術が発達するにつれて、どの国の生き物でも手に入れることが出来る反面、環境変化や環境破壊、乱獲による生息地減少、又は流通先での外来種問題等により唐突に規制対象となつて購入が不可能になることがあるので、今のうちに成長・繁殖の技術を確認し、累代していくことが全飼育者の課題であると思います。「いつまでもある」とは思わずに今あるものを大切に長く存続させることで一生の趣味として魚を飼育していきたいと思っています。



JFなぎさ信漁連からのお知らせ

～生活ローンWEB審査について～

なぎさ信漁連では、漁業近代化資金等事業性資金対応だけでなく、皆様の生活環境やライフイベントに応じた生活ローンメニューも取り揃えております。

定期的に各種ローンキャンペーンを展開しており、店頭や漁協施設、ATM他にて掲示しているので目にした方もいらっしゃるかもしれませんが、未だに知名度は低く、また、曜日限定営業店舗となる等新たな店舗運営形態への移行により、窓口で気軽に相談出来る環境が縮小しているのも現状です。

そこで、当会ではこういったマイナス面を補うべく近頃、HPをメンテナンスし、新たにWEB審査に注力する等改良を加えました。

以前は、渉外担当者や店舗職員による声掛け推進が主流でありましたが、生活資金借入はあまり他人に知られたくないジャンルですので、WEB審査導入により秘匿性を高める事が可能となったほか、融資を受けるまでの審査スピードが格段に上がった等利用者の声も好評です。

商品詳細や審査について、少しでも気になった方は是非アクセスしてみてください。お手持ちのスマホにて気軽に審査が出来ます。



協同組合人養成講座 3月講座(3月21日(木))のご案内

開催時間	講座名	講師名
13:00～14:30	魚食普及活動について ～SEAT-CLUB活動について～	JF兵庫漁連 指導部 広報担当課長 西本 広幸
14:40～16:10	簡単魚料理(調理実習)	JF兵庫漁連 指導部 広報担当課長 西本 広幸

JF兵庫漁連
講座はWEB受講も可能ですので、多数の方々の参加をお待ちしております。また、会館での参加者による情報交換会では、簡単な食事と飲物を交えての職員間のコミュニケーションが図れますので、会館での受講にも参加下さい。

保存版

今が旬の魚介で作る!!

簡単!! 魚介レシピ

* 黒鯛の春野菜のエスカベッシュ *



調理時間

20分

春の訪れを感じる芽吹き野菜が揃った

爽やかなカレー風味の黒鯛のエスカベッシュのレシピをご紹介します♪♪



材料

黒鯛	1匹
塩・コショウ	少々
Aカレー粉	5g
A薄力粉	適量
揚げ油	適量
赤玉ネギ	1/8個
アスパラ	1本
菜の花	4本
せり	1茎
トマト	1個
クレソン	1枝
クレス	1/4P
マリネ液 (作りやすい分量)	
りんご酢	大さじ2
バルサミコ酢	大さじ1
オリーブオイル	大さじ2
ごま油	大さじ1
グラニュー糖	大さじ1
塩・コショウ	少々

作り方

- ① 黒鯛は腹骨・中骨を取り、切り身にして塩・コショウをする。
- ② ボウルにマリネ液の材料を入れて混ぜ合わせ、マリネ液をつくる。
- ③ 赤玉ネギは薄くスライスし、アスパラ・菜の花・せりの茎はサッと茹で5cm長さに切り、マリネ液に漬けておく。
- ④ 黒鯛の水気を拭き取り、Aの材料をよく混ぜ合わせ、黒鯛にまぶし、高温の油で揚げ、マリネ液に漬けておく。
- ⑤ トマトを6枚にスライスし、一皿に3枚を盛る。
- ⑥ マリネした黒鯛を盛り付け、マリネ野菜を盛り、クレソン・クレス・せりの葉を飾る。



Instagram



HP

ひょうごのお魚ファンクラブ

SEAT CLUB

表紙の言葉



神戸市漁業協同組合 奥野陸人さん

主に船びき網漁業に従事されている、奥野陸人さんにお話を伺いました。漁師を志す方へのメッセージとして、「漁師は大変に危険な仕事ですが、何の魚が獲れるのか、値段がいくらなのか、毎日考えると楽しい仕事なので、一回チャレンジしてほしい」と話されたことが印象的でした。